

# 第6号 市小公連だより

## 筑紫野市小地区公民館連絡協議会



■発行元 筑紫野市小公連事務局 ■編集者 事務局長 福地 宗一  
 ■発行責任者 会長 森田 陽子 生涯学習課 佐々木泰博  
 〒818-0057 福岡県筑紫野市二日市南1-9-3 生涯学習センター内 Tel.番号092-918-3535

平成二七年度を振り返って  
 山口地区公民館長も兼ねて、この一年を振り返れば非常に業務が増え、小公連行事、古賀公民館長兼任で、またコミュニティセンターとの協賛行事、活動の参加など、早く開始されたその活動の活性化に積極的に活動して、地域の活性化に積極的に活動して、その方々には感心させられました。公民館、山口公民館、ユティンセンター、に集まる研修会や、自分で見学して、考へたに、研修会や、自分で見学して、考へたに、研修会や、自分で見学して、考へたに、



山口地区  
 古賀公民館長  
 常任理事  
 本田 重幸

### 役員のことば

## 市小公連の活動報告

### 公民館主催講座の紹介

① 社会的課題や地域課題で考える講座  
 ② 趣味、教養など市民の学習推進  
 ③ 公民館主催講座の紹介  
 公民館が主催する講座や地域の公民館が行う場合を対象として講師謝礼金(一定限度内)を補助しています。

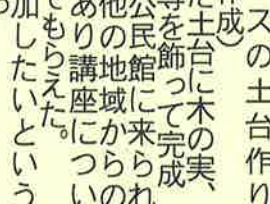
**大石公民館**  
 「クリスマスリース作り」  
 この冬は手作りのリースで素敵なクリスマスを楽しみませんか？  
 クリスマスの土台作り(杉の葉で作成)  
 リボン等を飾って完成  
 新しく公民館にいられた方も他の地域からいられた方もあり講座についでの方も多かったという



**岡田公民館**  
 「しめ縄を作ろう」  
 手作りのしめ縄で心を新たに新年を迎えました。  
 しめ縄の由来についての話を聞いた。  
 ドア用、引戸用の2種類の見本を見て自宅に合うしめ縄を決めて材料を分けた。  
 リクエストに答えての講座開設。乾燥した藁を手取るのが初めての方もあり講師の方も大変でした。



**大石公民館**  
 「一連凧作り教室」  
 大石地区の伝統行事「ほっけんぎょう」開催時に花を添えるための一連凧作り教室を開催した。  
 大石地区の故郷の子供たちが、大石地区の家族を深め、交流を深め、交流を深め、交流を深め、



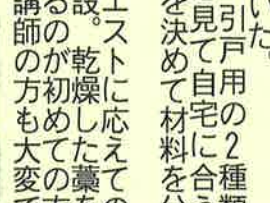
**柚須原公民館**  
 「エアロビ体操」  
 柚須原区住民の交流、親睦を図り日頃のストレスを発散していただき、リズム運動できる体操。



**大石公民館**  
 「クリスマスリース作り」  
 この冬は手作りのリースで素敵なクリスマスを楽しみませんか？  
 クリスマスの土台作り(杉の葉で作成)  
 リボン等を飾って完成  
 新しく公民館にいられた方も他の地域からいられた方もあり講座についでの方も多かったという



**大石公民館**  
 「一連凧作り教室」  
 大石地区の伝統行事「ほっけんぎょう」開催時に花を添えるための一連凧作り教室を開催した。  
 大石地区の故郷の子供たちが、大石地区の家族を深め、交流を深め、交流を深め、交流を深め、





# 福岡県公民館実践交流会

春日市クローバープラザにおいて

社会教育推進の中核的施設であり、地域づくりの拠点である公民館・コミュニティ施設などの関係者1038名が一堂に会し、日頃の実践活動の成果について発表し、情報交流を深めた。

平成27年2月13日(金) 午前9時  
嘉穂市 嘉穂地区公民館 千手分館  
館長 豊田 一元

平成27年2月13日(金) 午前9時  
から開催された。筑紫野市からも27名の参加、開会行事の後、公民館・青少年・高齢者・家庭教育などについて4会場に分かれて16テーマの会場で研修が実施された。

大川市「藩境のまちづくりを考える会」事務局 中村 隆志  
「藩境のまちづくり」をテーマに、

地域の歴史、財産を守り、生かすために、大川市の中心部に位置する小保・榎津地区には、木工業が発祥の地である。その街並みと職人の技術を守り、広報していくため、地域住民の実行委員会を策定して、具体的な内容として、住民へのアンケートを行い、意識調査をした結果、新しく家を建てる際の決まりを作ることで壊される家を減らすことと、繋がり、街並みを保護するために、展示やイベントを催し、伝道を行う。また、守りながら公開な思いが伝わると、実行委員会が地域にある特色を最大限に生かす方法として、参考にしていきたく

「子どもと地域をつなぐ公民館活動」  
「千手ふれあいじゅく」  
「夏休み☆ときめき学習」を通して

地域の催しに小学生を呼び込む取り組みについて、発表が行われた。千手分館では、小学校の統廃合により、地域内には小学校がなくなってしまう。今では学校から自然に公民館へ遊びに来ている子どもたちを、自分たちで呼び込みたい。学校がなくなると、自分たちで集める努力をしなければならない。地域と学校が連携して子どもたちを集める努力を、統廃合された新しい小学校の教師からは、子どもたちに対して、公民館の行事に参加するよう呼びかけをして、また、送迎の都合上、保護者の理解が欠かれないように、公民館の配布や地域の「女性の会」に口コミを広げ、

地域内には、小学校がなくなってしまう。今では学校から自然に公民館へ遊びに来ている子どもたちを、自分たちで呼び込みたい。学校がなくなると、自分たちで集める努力を、地域と学校が連携して子どもたちを集める努力を、統廃合された新しい小学校の教師からは、子どもたちに対して、公民館の行事に参加するよう呼びかけをして、また、送迎の都合上、保護者の理解が欠かれないように、公民館の配布や地域の「女性の会」に口コミを広げ、



# 福岡地区公民館研修会

糟屋郡久山町のレスポール久山において

福岡地区公民館研修会が実施された。大会テーマ「地域と人をつなぐ公民館」

平成27年2月28日(土) 午後13時  
から開催され、筑紫野市から14名

が参加した。本研修会では、福岡地区の公民館関係者が一堂に会し、研修会を通じて情報を共有し、公民館活動の在り方を見直す機会とすることを趣旨としている。

開会行事の後、第1部として実践発表、第2部として講演が実施された。

【実践発表】  
向ヶ丘公民館館長 末松 宏氏

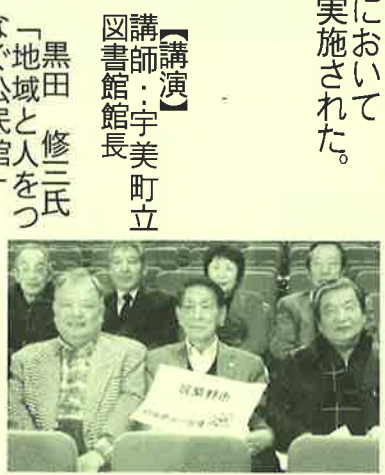
「少子高齢化社会での公民館の取組」

取組の基本的には「まずはやってみる」少子高齢化に伴う公民館の取組として、現状の年齢構成・家族構成の把握、組織改編、新たな取組の形成等が紹介された。公民館運営の空洞化の世帯への移行、移行時の空洞化の第二(春日市)白水ヶ丘自治会長 岩崎 久義氏

「公民館で絆づくり」 地域でつくった通学合宿

地域の子どもたちの生活体験の場の場としての通学合宿を通じて、画一的な事例が紹介された。子どもたちを「集う」「結ぶ」を実践した事例が紹介された。子どもたちを「集う」「結ぶ」を実践した事例が紹介された。子どもたちを「集う」「結ぶ」を実践した事例が紹介された。

「地域と人をつなぐ公民館」  
黒田 修三氏  
「地域と人をつなぐ公民館」  
黒田 修三氏  
「地域と人をつなぐ公民館」  
黒田 修三氏



筑紫地区・筑紫駅前通公民館



《筑紫駅前通の概要》

筑紫駅前通公民館は、筑紫野市の南、西鉄大牟田線筑紫駅東口から約1キロ、行政区のほぼ中央に位置しており、平成5年11月の建設後22年目になります。現在約970世帯、約2500人が居住しています。公民館は館長、主事等で運営され、自治会・ボランティア団体(草友会・防犯協力会ほか)の各種行事やサークル・教室など、生涯学習・地域の絆づくりの拠点として、多くの住民が利用しています。

- ① 公民館・サークル・教室
- ② 宝満会(老人クラブ)
- ③ 福の会(いきいきサロン)

- ④ 社交ダンス
- ⑤ フラダンス
- ⑥ 太極拳
- ⑦ 茶道
- ⑧ 書道教室
- ⑨ 英会話教室
- ⑩ など、16のサークル・教室があります。

自治会行事では「夏祭り」「夏期講座」「敬老会」「文化事業」「防災訓練」「人権講習会」「歳末パトロール」等を実施しています。当区はボランティア活動が活発で、宝満川土手の草刈や、防犯パトロールなど環境美化・安全安心なまちづくりに取り組んでいます。各種行事では、宝満会職員が作詞した「筑紫駅前甚句」(相撲甚句)をみんなで歌い、「心を一つ」にしています。その一部分を紹介します。

「深く根付いた  
草刈・防犯 美化活動  
楽しい集いは夏祭り  
地域力の見せ処  
地域で守る 安心と  
皆で育む 子どもたち  
歌声響く この街は  
筑紫駅前 睦び街。」



防災訓練



宝満川土手の草刈



敬老会



夏祭り

御笠地区・原公民館



アンビシャス多世代ふれあい館(原公民館)は、霊峰宝満山麓にあり、横に原宝満山が流れる自然環境の豊かな所にある自治公の館です。及び公民館の主な事業は、夏祭り、盆踊り、秋祭り・健康祝賀会・修会訓練・健康推進行事・災害訓練・健康問題啓発研究も25年が経過しています。原公民館は、健康推進行事・修会訓練・健康問題啓発研究も25年が経過しています。原公民館は、健康推進行事・修会訓練・健康問題啓発研究も25年が経過しています。

- ① 公民館・サークル・教室

- ② カラオケ教室
- ③ ゲートボール
- ④ 日本舞踊教室
- ⑤ ゴルフ同好会
- ⑥ 交友会
- ⑦ 子ども会
- ⑧ グランドゴルフ同好会
- ⑨ 山芋会
- ⑩ パールの会
- ⑪ 3B体操教室
- ⑫ など、利用しています。



編集後記

今年度も残すところ一ヶ月未満となりました。『市小公連だより』も発行して二年になります。本当に時間が経つのは早いものです。年を取るほど時間の過ぎる感覚は早くなるようですが、年齢の逆数が現時点のスピード感だそうなんです。同じ一日でも八〇歳の人は一歳の時に比べると八〇分の一です。二〇歳の人の四分の一です。そうであれば、尚更一日一日を大切に充実していかなくてはならないと痛感している昨今です。政府においても「地方創生」が推進されていますが、地方の責任の下で自主性を発揮する個性的な取り組みが不可欠だと思えます。そのためには、公民館を拠点とする「まちづくり」の輪の中にできるだけ多くの人を巻き込んで、さらに大きな輪にしていくことが重要課題のひとつであると思っています。これからも事務局一同、その中核となる小公連活動が、全力を尽くしたいと考えています。

